

第7回 新城地域協議会 会議録（要約）

日 時	平成26年11月25日（火） 午後7時 ～ 午後10時
場 所	旧新城市民体育館1階 第1会議室
出席者	委員20名（欠席者3名） 事務局 3名
傍聴人数	なし
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大茶話会からの提案事業について</li> <li>(2) AEDの設置場所について</li> </ol> </li> <li>3. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の地域協議会運営について</li> </ul> </li> </ol>
	<p>1. 開会 本日の会議成立の報告及び会議録署名委員の指名（浅野委員・松下委員）</p> <p>2. 議事（1） 大茶話会からの提案事業について 事務局から、平成26年11月16日に開催した新城地域自治区大茶話会2014の結果を報告した。グループ発表の中から自治区予算35万円を活用して実施可能性の高い内容について説明し、議論を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗・・・改修費用の補助（具体的な計画による） 空き店舗活用ワークショップ&amp;成功事例視察</li> <li>・How to本・・・新城地域自治区に住む方用のものとして作成</li> <li>・案内掲示板・・・新城地域自治区専用のもので設置</li> <li>・公園整備・・・小規模芝生スペース（モデル的に城北東部公園で実施。）</li> </ul> <p>最終的に案内看板の設置か子育て支援に係る調査検討の2つのうち、どちらかを行うことで採決した結果、子育て支援に係る調査検討に充てることとなった。</p> <p>&lt;主な意見等&gt;</p>
委員	<p><b>【公園整備】</b></p> <p>芝生広場について、整備にあたっては土砂などのメンテも含めて考える必要があると思う。空き店舗については、1か所やった場合に電気、ガス、水道関係の利用料、持ち主に対する賃借料を考え、継続していけるものでないといけない。1年2年で終わってしまわないよう、先を見て実施していく必要があると思います。</p>

委員	<p><b>【How to 本】</b></p> <p>これまでまちづくりの集会などでは、託児サービスを設けてもあまり来ていただけないというのが実情でしたので、今回、子育てを取り上げるのが良いと思いますが、How to 本というのが正直何を求めているのかつかみにくかったのですが、公園にしても、もう少し深掘りしてどういう公園を求めているのかを把握する必要があると思います。</p>
委員	<p>How to 本は冊子ではなく、自分が知りたい情報が紙1枚で載っているような、知りたい情報だけを知ることができるものだと思います。</p> <p>かゆいところに手が届くような情報提供が行政サービスとしてできないかということでした。必要か不必要かは人それぞれかもしれませんが、そういう行政サービスがあるべきだということです。それと、新城に来た時には不安だけがあったとおっしゃっていました。</p>
委員	<p>「子育て情報誌さくら」という団体は、子育てを行っているお母さんたちが必要な情報が取りにくいということで、自分たちで作りましたということがきっかけで活動をしています。子どもが生まれた人には渡しているようですが、引っ越してきた人にどう伝わっているのかが分かりません。</p>
委員	<p>自分の行政区の区長が誰なのかもわからない状況だと思いますから、市役所や各行政区のここに行けばその情報が手に入るとか、そういうシステムづくりが住みやすいまちづくりの原点になるかもしれません。</p>
委員	<p><b>【子育て支援】</b></p> <p>児童クラブについて、自治区の問題として取り上げて行うことができれば、地区のモデルとなって良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>10月から11月くらいに児童クラブの募集があるようですが、年度末に近くなって、子どもを預けたいというときには児童クラブに預けることができないので、その場合どこに相談してよいかわからないし、児童クラブは1年待たなければならないので、そこがどうにかならぬかなということをお話しされて見えました。</p>
委員	<p>子育て世代の意見を反映させるということも大事かと思うので、人に投資すると言いますか、情報の話でもそうでしたが、まだはっきりとこれというのが見えていないと感じます。調査費と言いますか、もう少しじっくりと取り組んでも良いのではないかといいことで、これらの意見をまとめてもらうというのはどうでしょうか。</p>
会長	<p>調査も含めて検討をするための予算で、その成果というのは、実施ではなくて来年度の自治区予算建議に反映させていくということになりますね。</p>

<p>委員</p> <p>委員</p> <p>会長 事務局</p>	<p><b>【案内看板】</b></p> <p>大茶話会の日に新城歌舞伎が文化会館でありましたが、新城駅を降りた人が文化会館の位置がわからないということで、委員が案内してきたという話の中から広がって出た意見です。新城駅を降りても何もない、何もわからないということでしたが、先ほどの自治区専用の案内板というアイデアは面白いと思います。</p> <p>車であれば、道路案内やナビがあるのでわかると思いますが、電車の場合には、新城駅に案内板が何もないということで、外から来た人には案内板がないと全くわからない。電車で来た人が如何に目的地にたどり着けるかということだと思います。</p> <p>案内板の中身の作成費用はどうしますか。</p> <p>だいたいのは事務所で作れますが、引き延ばしてカラーで印刷したいという場合には、多少かかってきます。</p>
	<p>3. 議事 (2)</p> <p>AED の設置場所について</p> <p>各行政区からの設置希望場所について、実際に設置した場合にどのようなものになるのかを地図上に示して説明を行い、設置場所の調整を行った。また、設置場所を屋内屋外それぞれの箇所数を検討した。</p> <p>検討結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館については、屋外に設置する。</li> <li>・ 24 時間対応できる地域をできるだけ確保するため、当初案から設置場所を移す調整を行った。</li> </ul>
	<p>3. その他</p> <p>次年度の地域協議会運営について</p> <p>地域協議会が発足して2年となる。これまでの地域協議会の進行や地域活動交付金、地域自治区予算、また、9月24日に行いました市長との意見交換会での意見も含めて意見交換を行った。</p> <p>&lt;主な意見等&gt;</p>
<p>委員</p> <p>委員</p>	<p>市が主催する色々な意見を聴く機会や会合があると思いますが、そこでまとまったものを地域協議会で説明してもらうのはどうでしょうか。なるべく若い世代の20代から40代くらいの方の意見を聴きたいと思い、そういう機会もどうかと思いました。</p> <p>先日、豊田市のシンポジウムを聴いてきましたが、地域協議会と行政が連携して新しい事業をうまく展開していることがわかりました。地域自治区制度のあり方として、もっと横串を太くして、我々がオール中部地区で盛り上げていくという体制になっていくということが、豊田市や恵那市の事例を聴いて、こういうことかということを感じました。その第一段階として、分科会でじっくり検討した上</p>

委員	<p>で決定していく方が良いと思いました。</p> <p>分科会には賛成ですが、例えば、委員全員がいずれかの分科会に入らなければいけないとすると、負担がどんどん増していくと思います。地域協議会は、きちんとした審議を行う場であり、分科会は、とことん協議をしていく場ということになると、有意的な感じではないと形骸化してしまう恐れがあると思います。若しくは、委員ではない人達で構成する議論の場があるというのも良いと思います。おそらく若い人はこのような場での発言はしにくいだらうなと思いますので、発言しやすい場を作ってあげれば良いと思います。</p>
委員	<p>もっと女性の意見をということで、今年度から入ったわけですが、最初にびっくりしたのは、委員さんの顔ぶれを見て、偉い人ばかりだったということです。もっと協議会の委員に若い人なども入っていれば良いなと思いましたが、分科会ができるということであれば、色々な年代から意見を聴くこともできるし、最初から最後まで議論がここだけでということになると、市の意向に沿ったような形になってしまいかねないというか、そういう気はしました。</p>
会長	<p>今、色々な意見をいただいて、最もだと思えることがたくさんありました。今の意見の中でも、なかなか手厳しい意見だなと思うこともあったわけですが、例えば、女性は子育てなどがあったりしてなかなか難しいですし、会社員の方はなかなか自由がきかない部分があります。それぞれの地域の意見を代表できる、反映できるような人が集まれば、その中で網羅的に出来るはずですが、やはり委員は高齢になってしまっています。</p>
委員 会長	<p>公募の方というのはいますか。</p> <p>いません。区の推薦ということでやっていますので、やる気のある方は区に言ってもらおうということになります。この間の茶話会でもそうでしたが、人材は色々といらっしゃるのに、我々が探す手を挙げる人がいないのが不思議だなと思います。それから掘り下げていくというのは、非常に良いことですが、例えば、分科会でしっかりと検討して協議会に出してくる場合に、出てきたものがすんなりと決まってしまうという形骸化の恐れもあると思います。そういうことにならないようにしつつ、内容を広く勉強しながら質の高いものを挙げていくことが必要だと思います。今日の皆さんの意見を念頭に置いて、平成27年度に向けた検討をしていきたいと思っています。2年任期の2年目ということで、再任は妨げないということがありますが、多様な人材、年齢層ということで、そんなことを念頭に新しい委員と替わる場合には検討していただきたいと思っています。</p>

【終了】